



グループワーク、ディスカッションを中心とした授業



リベラルアーツでの自然科学分野の学び



晴れた日には外で授業をおこなうことも



学生たちは自身の目的に応じた海外プログラムを利用して学びを深めます



お問い合わせ先

国際基督教大学
アドヴァンスメント・オフィス

〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2
TEL: 0422-33-3041
EMAIL: foi@icu.ac.jp

INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY
ADVANCEMENT OFFICE

3-10-2 Osawa, Mitaka-shi, Tokyo 181-8585, Japan

ICU
Expanding Potential

資金運用型寄付趣意書
＜Pay it Forward＞



— 授かったご恩を次の世代に —

国際基督教大学
International Christian University

ごあいさつ

国際基督教大学(ICU)は、第二次世界大戦への深い反省から、国際的社会人としての教養をもって、神と人々に奉仕する有為の人材を育成することを目的として1953年に献学されました。献学にあたっては、戦後の荒廃の中、平和な未来の到来を希求していた無数の人々からの寄付金が原資になっています。日本と北米での地道な募金運動があり、その呼び掛けには、各界の指導者のみならず、戦後きびしい生活を送っていた、小学生をも含む多くの一般の方々から貴重な献金いただきました。

ICUの献学の理念を支えてきたのは、学生教員比率「1:19」という少人数教育にあり、こうした素晴らしい教育環境を提供できるのは、ひとえに先人達の慈愛に満ちた志の賜物があった結果です。

現在の学校運営においても、米国の財団からの資金援助やICUファミリーからの寄付、献学時の寄付により購入した土地の売却資金等を活用した資産運用益が大学の財政基盤を支えています。今回の新しい寄付制度は、ICUの財政基盤をより堅牢なものにしていくために、ご寄付いただいた資金を大学の運用基金に組み込み、その運用益を大学資金の一部として未来に渡って活用していこうという画期的な制度です。

これまで本学に関わりをもった無数の人々の祈りに応え、これからも学生に豊かな教育環境や研究機会を提供していくために、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年12月

国際基督教大学

理事長

竹内弘高

学長

岩切正一郎

制度の概要

- ・ 支援者から受領した寄付金をICU全体の大学基金(ICU基金)に組み入れて運用し、毎年の運用益を奨学金*の支払原資として活用します。
*ICU Peace Bell 奨学金・・・模範となる学生を入学前に選考し、4年間(年100万円)にわたり給付
ICU トーチリレー奨学金・・・新入生、在校生を対象として、学費の一部を免除
- ・ 奨学金へ繰り入れる額については、物価上昇による実質価値の減少や運用実績の振れを緩和する方向で制度設計しています。
- ・ 寄付者ごとに寄付金残高を記録・整理したうえで、年1回運用実績を書面で報告します。

寄付の名称

- ・ 「資金運用型寄付」< Pay it Forward >

最低寄付額等

- ・ 1口1百万円とし、5口以上でお願いします。
また、寄付口数は1口単位で後日、追加できます。

募金目標額

- ・ 年間 2,000万円(20年間 累計4億円)
なお、目標額は募金の達成状況に応じて、今後、見直していく予定です。

募金期間

- ・ 永続的な募金制度です。

運用実績等に対するご報告

- ・ 年1回、運用実績や繰入額などを書面で寄付者へ報告いたします。
また、寄付者をICUの財務状況に関する報告会(年1回)に招待いたします。
- ・ 寄付者は、報告書受領者の後継者(ご家族等)を指名することができます。受領者の指定に関する詳細事項は、事務局にお問い合わせください。

顕彰について

- ・ 寄付者名等の冠を付けた顕彰板を作成し、学内に掲示させていただきます。
×××基金
- ・ 冠名は、寄付者が希望すれば、ご芳名でなくても付与可能です。
具体的な希望があれば、事務局へご相談ください。
また、匿名(顕彰板を設置せず)を希望することも可能です。
- ・ 大学が毎年作成している学報等に資金運用型寄付の冠名一覧を掲載いたします。

ご寄付の方法

- ・ 事務局へご連絡いただければ、申込用紙等必要な書類をご送付いたします。また、電話や直接お会いして、詳細に説明することも可能です。

税法上の優遇措置

- ・ ご寄付については、他の寄付と同様に税法上の優遇措置の対象となります。